

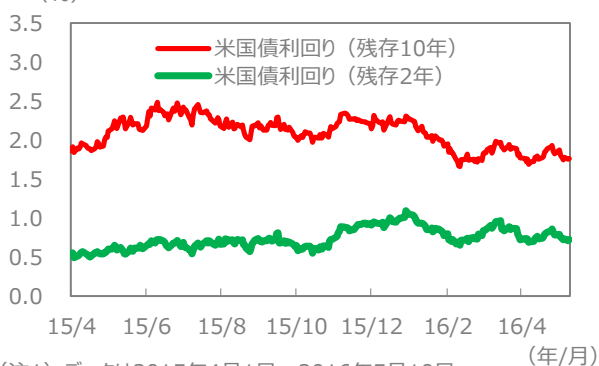
今日のトピック

米国の債券市場（2016年5月） 引き続き活況が見込まれる社債市場

ポイント1 国債利回りは上昇 リスク回避の動きが後退

- 4月の米国10年債利回りは、上昇しました。月初に公表されたISM景況感指数や雇用統計などの指標が米国景気の堅調な拡大を示す内容だったことなどを受けて、リスク回避の動きが後退したためです。
- 4月25日～26日に開催された米連邦公開市場委員会では、政策金利が据え置かれましたが、声明文の内容が緩やかな利上げを示唆するものだったため、月末にかけて利回りは低下しました。結局、4月末の10年債利回りは1.83%となり、前月末に比べ0.07%ポイントの上昇となりました。

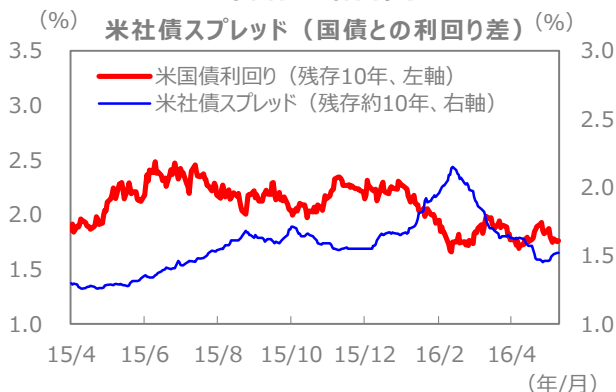
(%) 米長期10年債と2年債の利回り



ポイント2 社債スプレッドは縮小 投資適格社債の発行が拡大

- 米社債スプレッド（国債と社債の利回り差）は、縮小しました。原油価格など資源価格が上昇したことに加え、緩やかな金融環境が持続するとの見方が強まり、社債に対する需要が高まったためです。
- 5月の投資適格社債の起債は活況です。特に9日は、10本で250億ドルの起債がありました。1日の発行額としては、2006年以降で4番目の規模となりました。

米国債の利回りと



今後の展開 社債市場の活況は続く見通し

- ISM指数や雇用統計は、堅調に推移しています。米国の景気が拡大基調にあることを示唆するものです。米連邦準備制度理事会は、2016年も利上げを継続すると予想されます。
- もっとも、物価や賃金上昇率が比較的低い水準に止まっていることを踏まえると、利上げの速度は緩慢となる見込みです。企業収益の拡大も見込まれることから、社債市場の活況は今後も続く見通しです。

ここもチェック! 2016年5月9日 米国の雇用統計（2016年4月）
2016年5月6日 米国のISM景況感指数（2016年4月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。